

三友精機(株)

中津川市・ダイカスト・プラスチック金型製造、修理

従業員数／男性11名 女性4名 計15名 ※令和4年11月現在

エクセレント POINT

- ①時間外労働削減のため、1日のスケジュールを時間単位でホワイトボードに書いて見える化
- ②年次有給休暇は時間単位で取得可能
- ③社員の意見を聴く場として、四半期に1度社長面談を実施



項目ごとに作業の流れをまとめたフローチャートを作成。各職場に張ってあり、いつでも確認することができる。

三友精機では、職場内のルールを明確にすることで業務効率化につなげようと、それぞれの部署が意見を出し合って、受注から生産、納品までの流れをまとめたフローチャート20種類を作成。各職場に張り出しつつも確認できるようにしている。特に、個人により差があった問題発生時の対応は、内容ごとにパターン化することで迅速に解決できるようになつた。

また、終礼時に、翌日に行う仕事と所要時間をホワイトボードに書くことを習慣化したほか、廃材を利用して工具の整理棚を作成するなど、日頃から職場環境整備に積極的に取り組んでいる。

業務効率化を中心となつて進められた青山信子総務部長は「新入社員に対し、ルールも何もない状態で『自分で考えて』と言うのは酷。ルールづくりが進み、指導しやすくなつた」と、人材育成の面での成果も実感している。

様々な人材が活躍できる環境づくりには以前から注力。総務部は以前、女性従業員2人のみだったが、1人が産休に入るのに合わせて新たに1人を採用。現在は3人体制となり、フォローがしやすい環境が整つた。

会社創立時から働く製造課の糸魚川証作さんは、72歳となつた今も

きるようになった。

職場のルール明確化で効率アップ。



会社創立時から働いている糸魚川証作さん(右)は、負担の少ない勤務体系にすることで、72歳となった今も技術顧問として活躍している。

技術顧問としてダイカスト部品の仕上げや従業員の指導などを担当。始業時間を他の従業員より45分遅くするなどの配慮があることで安心して力を発揮できている。

篠原悟司社長は「会社で目標を達成する喜びを得ることにより、家の生活も充実化させるという良いサイクルを確立してほしいという思いで、今後も働きやすい環境づくりを進めていきたい」としている。